

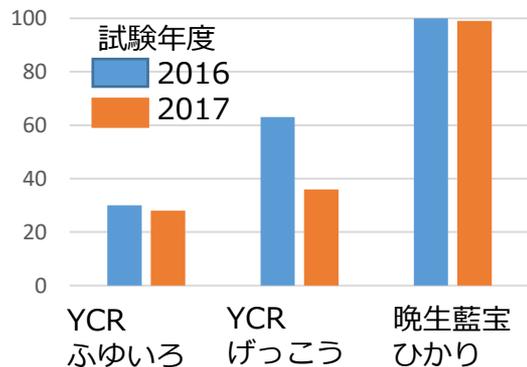
根こぶ病抵抗性キャベツ品種「YCRふゆいろ」

生産 品目：キャベツ

技術の概要

根こぶ病はアブラナ科野菜に大きな被害を引き起こす土壌病害である。被害株の根はこぶ状になり、養水分の吸収が阻害されるため日中萎れて、ひどい場合は枯死する。

「YCRふゆいろ」は、市販品種で最高レベルの根こぶ病抵抗性と優れた実用形質を持つ寒玉系のキャベツである。



「YCRふゆいろ」の収穫物

幼苗検定での根こぶ病抵抗性比較

発病評点、0（無病徴）、1～3（こぶの大きさ）、
発病度： $(\sum(\text{発病評点} \times \text{株数}) / (\text{最大発病評点} \times \text{全株数})) \times 100$

効果

◎農薬使用量の低減

根こぶ病防除用の土壌殺菌剤が不要になるため、20-30kg/10aの農薬使用量低減が可能になる。

◎高い実用形質

球の肥大性が良好で収量性に優れる。球形は平玉で、青果・加工用途の両方に適する。

●根こぶ病発生圃場で栽培したキャベツの根

一般品種には大きなこぶが発生するのに対して、「YCRふゆいろ」ではほとんどこぶができない。



YCRふゆいろ

罹病性品種

こぶ状になった根

導入の留意点

●新たな病原型グループの根こぶ病菌の発生には十分な注意が必要

多様な根こぶ病菌の中には本品種を加害する菌株が存在する可能性もあることから、耕種的防除を含む総合防除を行うことが推奨される。

その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

●普及の状況

・2022年度から種子販売を開始、初年度の栽培面積は約70ha

関連情報

①農研機構品種サイト：
「YCRふゆいろ」（令和元年）

②株式会社日本農林社：
商品紹介サイト（令和5年）

